【タイトル（和文）】

【タイトル（英文）】

【著者名（和文）】

【著者名（英文）】

【所属機関名（和文）】

【所属機関名（英文）】

【和文抄録（400字以内）】

【和文キーワード（6個以内）】

【英文抄録（250 words以内）】

【英文キーワード（6個以内）】

【本文】

引用・参考文献

1）

2）

3）

文献欄書き方例

・雑誌の場合

1）巽あさみ・住吉健一・川口仁美ほか：短時間で行う積極的傾聴研修の効果　2時間30分で実施する管理監督者研修の検討．産業衛生学雑誌，52（2）：81-91，2010．

・単行本の場合

2）河野啓子：わが国における産業保健・産業看護の実態．河野啓子，産業看護学，43-58，日本看護協会出版会，東京，2012．

・電子情報の場合

3）厚生労働省：平成23年労働災害防止対策等重点調査　結果の概要．http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/h23-46-50\_121025\_03.pdf（2013.8.29）

英文雑誌3名以上の著者の場合(et alは、ほかと同義)

１) Keiko Kono, Yuki Goto, Junko Hatanaka, et al ：

Competencies required for occupational health nurses．Journal of Occupational Health，59：562-571，2017．

英文単行本の場合（：サブタイトル）

2）John.Launer：Narrative Based Practice in Health and Social Care：Conversations Inviting Change，Routledge，New York，2018．

英文電子情報の場合

3) International Organization for Standardization. “How ISOdevelops standards”．International　Organization for Standardization．

http://www.iso.org/iso/about/how\_iso\_develops\_

standards.htm, (accessed 2008-08-25).

＊上記は、独立行政法人科学技術機構編　「参考文献の役割と書き方」を参考にした．